

フィフティだより

発行 丹波篠山市男女共同参画センター
令和5年2月21日

成果と笑顔が共にアップ
イクボスで



日時 令和5年3月10日(金)
18:30 ~ 20:00

場所 丹波篠山市民センター催事場 1.2

申し込み 不要、当日会場にお越しください

費用 無料

対象 企業の経営者、管理職または人事担当の方
ワークライフバランスに関心のある方

講師 NPO法人ファザーリング・ジャパン
櫻井 一宇 岸和田市在住 [47歳]
妻、長女18歳、次女13歳の4人家族
仕事 父親業
副業 産業部品商社 取締役、制御盤設計製作工場経営、
NPO法人ファザーリング・ジャパン関西 理事長

※新型コロナウイルス感染症の状況により、変更や中止になる場合があります。ご了承ください。

誰かが活躍できる職場活躍させる上司

イクボスとは、「育児をしている上司」のことではありません。職場でともに働く社員のワークライフバランス(仕事と家庭生活の調和)を考え、その人のキャリアと人生を応援する人、そして、自らの仕事と私生活を楽しみながら、組織の業績(目標や利益)を達成する人のことです。ボスという言葉から男性：と思われがちですが、当然女性も含まれます。女性活躍が推進される第1子出産後も仕事を続けている女性は約7割に達します。しかし、全国には137万人もの就業を希望する育児中の女性がいます。また、親の介護で年間10万人もの離職者が出ています。家庭も仕事もどちらも大切です。男女がともに輝く社会に向けて、社員も自分も会社の業績も高まる「イクボス」の講演を聞いてみませんか？

詳しくは



3月8日は国際女性デーです

毎年3月8日は「国際女性デー」です。国際婦人年である1975年3月8日に国連で提唱、77年の国連総会で議決されました。女性の権利を守り、女性の活躍を支

援するため、世界中で祝われている記念日です。「ミモザの日」ともいわれます。

日本では、毎年男女共同参画担当大臣が、メッセージを発出しています。



内閣府
国際女性デー

専門機関(フェミニストカウンセリング協会)による

女性のための悩み相談

家庭内での夫婦関係や親子関係、職場での人間関係がしんどい…。なんとなく生きづらい、自分に自信がない…ひとりで悩まず、お気軽にご相談ください。あなたが抱えるさまざまな悩みを専門相談員(女性フェミニストカウンセラー)がサポートし、心の整理をお手伝いします。

相談日

3月23日(木)

4月27日(木)

5月25日(木)

①10:00 ~ 10:50

②11:00 ~ 11:50

③13:00 ~ 13:50

相談方法 面接面談

相談員 女性のフェミニストカウンセラー
(NPO法人フェミニストカウンセリング神戸)

相談料 無料

対象 市内在住、在勤、在学の女性

申し込み 先着順で事前申し込み(3日前まで)
空きがあれば当日申し込みも可

※一時保育はありません。

申し込み先
男女共同参画センター
☎552-1511

時間 9:00 ~ 17:00
休館日 月曜・祝日・年末年始

困ったときの相談窓口

内容	相談窓口	電話	曜日	時間	その他
男女共同参画に関する相談、女性相談	男女共同参画センター	☎552-1511	火~日曜日 (祝日・年末年始を除く)		
人権相談 女性のための悩み相談	人権推進課 (第2庁舎1階)	☎552-6926	月~金曜日 (祝日・年末年始を除く)	9:00 ~ 17:00	身近な相談窓口として、人権や生活上のさまざまな相談をお聞きします。必要に応じて関係機関へつなぎます。
総合生活相談	畑ふれあい館	☎552-4401			
	日置ふれあい館	☎556-2850			
	西紀ふれあい館	☎593-0093			
	味間ふれあい館	☎594-1003			
	古市ふれあい館	☎594-1001			
ふくし総合相談窓口	長寿福祉課 (第2庁舎1階)	☎552-5346		8:30 ~ 17:15	どこに相談したらいいのか分からない福祉の相談のことは、まずご連絡ください。
DV相談	DV相談+(プラス) (内閣府)	☎0120-279-889		24時間	専門の相談員が対応します。 ※10カ国語対応。
DV相談 女性の悩み相談	兵庫県女性家庭センター(兵庫県配偶者暴力相談支援センター) 悩みのほっとライン	☎078-732-7700	年中無休	9:00 ~ 21:00	

フイフティだよりでは、市内で活躍されている女性を紹介しています。今回は、約34年間市内でエステ、化粧品販売の仕事をされている藤井幸さんにお話を聞きました。

お仕事を始めるきっかけは？

私自身、ニキビ肌で悩んでいたことから、美容に関心があり「お肌を調べて、その人に合わせた化粧品を提供する」という商品に出会い、感動したことがきっかけです。

今ではA-1技術により3分でお肌に合う化粧品の結果が出ます。

最初は訪問販売から始め、現在は店舗で「エステ」と「その人に合わせた化粧品の販売」の両輪で頑張っています。



ふじいみゆき 藤井幸さん

喜ばれることに喜びを

お顔だけではなく全身の血流をよくしてほぐすエステは癒しの効果があり、お客さんに喜んでいただいています。

市でお店を開業されたきっかけは？

都会で暮らしていましたが、私も夫も、丹波篠山出身です。子育てをしながら、自由がきく働き方を考え、家の横にプレハブを建てて始めたのがきっかけです。

私は、販売に向く性格ではないため最初は心配していましたが、今日までこうしてやってこられたということは、この仕事が合っていたのだでしょうね。

夢中になるとお客さん優先になりますが、周りの人に助けてもらっています。

ボランティアを始めたきっかけは？

ハンドマッサージをしていたとき



「うちに来てくれませんか？」と施設の方や看護師さんに声をかけられました。「コロナ禍以前は、高齢者施設でお化粧やハンドマッサージをして元気になってもらえたら」という気持ちで行っていました。

最近の楽しみは？

仕事が楽しくて、毎日の励みになっています。まずはお客さん優先で、予約が入っていない平日は自分優先でゆっくりもしています。

夜寝られなかった人から「エステを受けるとその日の夜よく寝られる」という言葉を聞いたときなど、エネルギーになり私自身も回復しています。

30年以上続けていますと、親子三代で来店くださる方もあり、ありがたいと思っています。

仕事で大事なことは？

常日頃から技術を上達させて、お客さんに満足してもらおうこと、お客さんのニーズに答えることが一番大切なことです。

「健康管理士の資格を取得し、体の内外から美容のアドバイスをして、参考にさせていただいたり、職場の人間関係で悩んでいる人には、話を聞いてアドバイスさせていただいたり」ここにきてよかったと、満足して元気になってもらいたいと思っています。

男女共同参画センター

開設記念講演会開催



丹波篠山市民センターにおいて、男女共同参画センター開設記念講演会を開催しました。

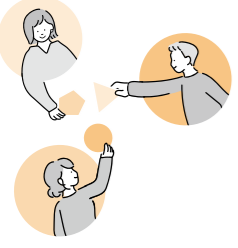
前宝塚市長、元衆議院議員として、さまざまな場面で男女平等の大切さを訴えてこられた中川智子さんをお招きしました。

中川さんは「被災者生活再建支援法」「ハンセン病問題」に取り組み、宝塚市長時代には、西日本の自治体としては初の「同性パートナーシップ宣誓制度」を制定されました。その取り組みは、阪神7市1町など県内に広がり、令和5年度からは丹波篠山市も制度を実施します。

「たった一度の人生だから」と題して、「ご自身の人生をどのように選択してこられたか、ユーモアを交えて講演され、参加者の心に届けました。

何か問題が起こってから動き出すのではなく、平穏な時こそ準備を怠らない「平時が大事」や「絶対に一人で抱え込まない」「迷惑はかけあう」「やれる人がやればいい」というお話は、人間関係が希薄な現在には特に印象的でした。各自治会の男女共同参画推進員、市民の皆さん約110人が参加し、熱心に耳を傾けられました。

参加者アンケートでは「為せば成る」「あきらめない」という言葉に共感・勇気を得た、今後の人生の決断に生かせる、言葉が身に染みたなどの感想があり、またこのような講演を期待すると、大変好評をいただきました。



自殺対策強化月間

3月は月別自殺者が最も多くなります。年度末を迎え、仕事上の問題や、経済的な問題を抱える人が増加するためといわれています。

また、出産後1年以内の死亡原因で最も多いのは「自殺」です。その要因は「産後うつ」といわれています。

うつの発症は産後1カ月までがピークで、十分な休養を取ることや朝日を浴びてホルモンバランスを整えることで予防できます。しかし、この「休養を取る」ことが、産後女性にとっては、最も難しいともいわれます。この時期に夫が短期間でも育児休暇を取り、妻が十分休養を取る時間を作ることができれば、うつや自殺のリスクを低減することができそうです。

産後うつだけでなく、仕事、家庭不和、性暴力被害、貧困などさまざまな課題を抱える人もいます。

「グートキーパー」といって、自殺の危険を示すサインに気づき、声をかけて必要な支援につなげる人がいます。自殺対策では、悩んでいる人に寄り添い「孤独・孤立」を防ぐことが重要です。

4ページには身近な相談窓口を記載しています。ちょっと気になる方が周りにいたら、相談窓口を利用するようお声掛けください。



好きな言葉は？

「喜ばれることに喜びを」というのが精神で、「感謝の気持ち」というのはすごく大事にしています。

目標を持って、それをやり遂げようと思ったら「常に周りの人への感謝の気持ち」が大事よ」と常に伝えていきます。

私自身も、常日頃からお客さんをはじめ、仲間たちそして家族のおかげと思っています。

パープル・ライトアップ

内閣府では、11月12日から25日までを「女性に対する暴力を無くす運動」期間と定め、女性に対する暴力根絶のシンボルである「パープルリボン」で啓発しています。期間中、市では市役所本庁舎と第2庁舎をパープル・ライトアップしました。

たとえどんな理由があっても暴力は許されない行為です。DVなど暴力で悩まれている方は、まずは相談してください。身近な相談窓口は、4ページに記載しています。



女性委員会委員レポート

第11期女性委員会がスタートしています。2024年3月に住みやすいまちへの提言を市に行う予定です。研修を重ねている委員のレポートを抜粋して紹介します。

「パートナーシップ宣誓制度」への感想として、結婚は「男性と女性」という異性間のカップルと認識されています。しかし「多様性」という社会の流れから、同性のカップルについても法律婚を認めるべきという考えもあります。宣誓制度が他県や他の市町村でも提出できるようになれば、よりよい制度になると思います。

今後も男女共同参画の視点から、地域の課題など、施策提言に向けて研修し、各委員の思いを話し合っていきます。

